

1 中国諸王朝の諸制度の変遷

王朝	年代	首都	建国者	官制		官吏任用制度	軍事制度	土地制度	税制	内乱 民衆反乱	経済	文化 (おもな流れ)	
				中央	地方							儒教	その他の宗教 (赤字: 外来宗教)
殷	前1600頃～前1050頃	大邑商	湯王	祭政一致	方伯制						(貝貨)	甲骨文字	
西周	前1050頃～前771	鎬京	武王	礼政一致	封建制度						鉄製農具・牛耕農法、青銅貨幣 (刀銭・布銭・鏡鼻銭)	諸子百家の登場 (孔子→孟子・荀子)	詩経 楚辞
東周	前770～前256	洛邑											
秦	前221～前206	咸陽	政 (始皇帝)	丞相・太尉・御史大夫	郡県制 什伍の制					陳勝・呉広の乱	半両銭、度量衡統一	焚書・坑儒	小篆
前漢	前202～後8	長安	劉邦 (高祖)	丞相・太尉・御史大夫	郡国制 郡県制	郷举里選					代田法・区田法、火耕水耨、五銖銭、均輸法・平準法、塩鉄酒専売	董仲舒 五經博士	
新	8～23	長安	王莽	礼政一致						赤眉の乱			隷書
後漢	25～220	洛陽	劉秀 (光武帝)		郡県制	郷举里選				党錮の禁 黄巾の乱		馬融 鄭玄	楷書
魏	220～265	洛陽	曹丕			九品中正法	兵戸制	屯田制					行草書
西晋	265～316	洛陽	司馬炎 (武帝)			九品中正法		占田法 課田法	戸調式 土断法	八王の乱	江南の開発	清談の流行	楷書
東晋	317～420	建康	司馬睿									道僧 (渡来僧) (渡印僧) 仏國澄 法顕 鳩摩羅什 達磨	王羲之
北魏	386～534	平城 洛陽	拓跋珪	五省	三長制		府兵制 (西魏)	均田制	租調役制				陶淵明 顧愷之 王羲之
隋	581～618	大興城	楊堅 (文帝)	五省六部	州県制	選挙 (科挙)	府兵制	均田制	租庸調制		大運河建設		唐詩 李杜 王維
唐	618～907	長安	李淵 (高祖)	三省六部 一台	道州制 六都護府 十節度使	科挙	府兵制 募兵制	均田制	租庸調制 兩税法	武韋の禍 安史の乱 黄巢の乱	茶・綿花の栽培、江南社会の発展、坊市制、行・飛銭、市舶司設置	8宗派 玄宗 義浄 景教 摩尼教 回教	唐三彩
(五代)	907～960	汴州 (開封)	朱全忠他		節度使	科挙	牙軍		兩税法				顔真卿
北宋	960～1127	開封 (汴京)	趙匡胤 (太祖)	中書門下省 樞密院	路府州県 保甲法	科挙 (殿試追加)	禁軍	佃戸制	兩税法	新法党・旧法党の党争 方臘の乱	「江浙熟すれば天下足る」 占田・均田、占城稻導入、交子・会子、行・作、宋磁・絹織物、市舶司貿易	孔穎達 [五經正義] 朱子学 周敦頤 朱熹	宋詞
南宋	1127～1279	臨安 (杭州)	高宗	三司使								淨土宗 禪宗 白蓮教	院体画 文人画
元	1271～1368	大都	フビライハン (世祖)	中書省 樞密院 御史台	行中書省	科挙を一時停止	軍戸制 (定員 72万戸)	佃戸制	兩税法	ハイドゥの乱 紅巾の乱 (白蓮教徒の乱)	綿花栽培の発達、駅伝制、交鈔の発行、専売制強化	全真教 (金) 正教 (南木)	宋詞 元曲 カトリック チベット仏教
明	1368～1644	南京 北京	朱元璋 (洪武帝)・太祖	六部 五軍都督府 都察院 内閣	道府州県 里甲制 (民戸)	科挙	衛所制 (軍戸)	佃戸制	兩税法 一条鞭法	靖難の変 鄧茂七の乱 李自成の乱 抗租運動	「湖広熟すれば天下足る」 農村家内工業の発生、賦役黄冊・魚鱗図冊、銀の流通、会館・公所、山西・新安商人	陽明学 王陽明	元曲 小説 戲曲
清	(1616) 1636～1912	瀋陽 北京	ヌルハチ (太祖)	内閣 六部 軍機処 都察院	省道府州県 保甲制 理藩院	科挙	八旗 綠營 郷勇	天朝田畝制度 (太平天国)	地丁銀制	三藩の乱 白蓮教徒の乱 太平天国の乱 戊戌の政変 義和団事件	商品作物栽培の発達、稲の二期作、会館・公所・幫、公行貿易、茶の輸出	陽明学 王陽明	西洋画法 北宗画 南宗画